

各 位

会社名 ヒビノ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 日比野 晃久
 (コード番号 2469 東証 JASDAQ)
 問い合わせ先 執行役員ヒビノ GMC 経営企画本部長 大関 靖
 (TEL : 03-3740-4391)

2019年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2018年5月11日に公表しました2019年3月期第2四半期連結累計期間(2018年4月1日~2018年9月30日)の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、通期の連結業績予想及び配当予想につきましては、変更ございません。

記

1. 2019年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異 (2018年4月1日~2018年9月30日)

(単位：百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想	A	14,500	300	450	270	円 銭 27.04
今回発表実績	B	14,520	514	661	392	39.40
増減額	B-A	20	214	211	122	
増減率	(%)	0.1	71.5	47.1	45.5	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期)		13,183	270	819	505	50.55

2. 差異の理由

当第2四半期連結累計期間は、来たる2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた施設整備需要、旺盛なコンサート・イベント需要に確実に対応すべく、グループを挙げて取り組みました。その結果、競技施設向け音響・映像設備の販売をはじめとする大型案件を多数獲得し、売上高は計画通りに推移し、第2四半期連結累計期間として過去最高を更新いたしました。

利益面については、収益性の高いコンサート市場が計画以上に好調に推移したことに加え、計画していた研究開発やイノベーション活動の実施時期が第3四半期以降へずれ込んだことから、営業利益以下が予想を上回りました。

第3四半期以降は、研究開発やグローバル展開、イノベーション活動など、将来的な事業拡大に向けた基盤構築をより一層進めてまいります。

これらを総合的に勘案し、通期の連結業績予想につきましては、2018年5月11日に公表しました予想数値を据え置くことといたしますが、今後、業績予想修正の必要がある場合には速やかに公表いたします。

(注) 業績予想値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

以 上